

■ **田辺元** **日本の科学哲学の先駆者。いわゆる"田辺哲学"が侵略戦争を正当化したため、<敗戦>後に自己批判。**

たなべはじめ

内閣発足・・1885 = 東京神田猿樂町で長男に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 4歳：

日清戦争始・1894 = **9歳**：

城北中学校，

第一高等学校理科を経て，

日比谷公園・1903 = **18歳**：

日露戦争始・1904 = 19歳：_東京帝国大学数学科に入学したが，まもなく哲学科に転じ，

日露戦争終・1905 = 20歳：

アヲチ 創刊・1908 = 23歳：卒業し，大学院に進む。

明治天皇没・1912 = **27歳**：_大学院を退学し，

大正政変・・1913 = 28歳：_東北帝国大学理学部講師となり，科学概論を担当するうち，

21ヶ条要求・1915 = 30歳：「最近の自然科学」，

本格政党内閣1918 = 33歳：文学博士。「科学概論」，

べ **妙仁条約**・1919 = 34歳：_西田幾多郎に招かれて京都帝国大学文学部助教授に就任，

原敬首相暗殺1921 = **36歳**：

水平社結成・1922 = 37歳：_ヨーロッパに留学して，主としてフライブルク大でフッサールについて現象学を研究，

護憲三派圧勝1924 = 39歳：帰国後，「カントの目的論」，

治安維持法・1925 = 40歳：_「数理哲学研究」を著して，

金融恐慌・・1927 = 42歳：_**京大教授となった。**

やがて，ヘーゲルの観念弁証法とマルクスの唯物弁証法の両者をのりこえようと，<絶対弁証法>あるいは<即物弁証法>を構想し，

海軍軍縮条約1930 = **45歳**：

満州事変・・1931 = 46歳：

五一五事件・1932 = 47歳：_「ヘーゲル哲学と弁証法」で独自の思想を展開し，

国際連盟脱退1933 = 48歳：「哲学通論」，

帝人疑獄事件1934 = 49歳：_**田辺哲学の成立を告げる「社会的存在の論理」を著わし，<種の論理><媒介の論理>をうちだした。<種の論理>は自由主義を批判し，他方<全体主義>を否定しようとする意図をもっていたが，実際には，国家・民族を絶対化する危険性をもち，やがて天皇制軍国主義の侵略戦争を正当化する論理となった。**

日中戦争始・1937 = 52歳：

第二次大戦始1939 = **54歳**：

日米開戦・・1941 = 56歳：

敗戦・・・1945 = 60歳：_**停年退官。**

新憲法公布・1946 = 61歳：_**「懺悔道としての哲学」を著わし，戦前のいわゆる<田辺哲学>の破綻を告白し，自己批判。**

新憲法施行・1947 = 62歳：学士院会員，

極東裁判決・1948 = **63歳**：

朝鮮戦争始・1950 = 65歳：_文化勲章を受章。

独立回復・・1951 = 66歳：「ヴァレリイの芸術哲学」。

メーデー事件・1952 = 67歳：「哲学入門」全4巻，

_晩年は，かつての道元の<自力>への共感から親鸞の"他力"へ転じ，宗教性に回帰，研究と著作に専念し，

なべ底不況・1957 = **72歳**：

安保闘争・・1960 = 74歳：

全国総合計画1962 = 77歳：_没した。

「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，